

建設業にチャレンジする 先輩を紹介!



松山工業高校土木科では、将来、建設会社の第一線で活躍できる技術者となるために必要な設計、測量、建設資材の特性などの知識と技術を学べます。
今回、その生徒たちが、高速道路と松山空港をつなぐ「松山外環状道路」を建設する現場を見学しました。



現場見学会の様子



ひめ建新聞

令和3年度第2号

発行：愛媛県・
愛媛県建設産業
団体連合会
TEL.089-943-5324

先輩にインタビュー



松山工業高校
土木科・2年
黒川 裕斗さん
くろかわ ゆうと

国語や数学、英語などの普通教科だけでなく、将来土木技術者になるために必要な測量や土木施工、力学といった土木の専門的な学習もします。また、教室で普通に授業を受けるだけでなく、測量器械を用いた実習やコンクリート実習など、いろいろな実習の授業があり、とても楽しく勉強しています。

学校の授業内容は？

普段は入れない工事現場で、引つ張る力が加わると壊れやすいというコンクリートの難点を克服したプレストレストコンクリート（※1）が導入されていることや、CIM（※2）と呼ばれる3次元モデルの活用など建設業界でもICT化で効率よく作業ができるよう工夫されていることなどについて、体験、見学でき大変勉強になりました。

見学会の感想は？

私は愛媛県内の土木関係の就職を希望しています。そして将来は、松山市内を今以上にもしっかりと都会にすることが夢です。道路や橋などの建設だけでなく、交通の整備や景観等にも配慮し、松山市を日本のどの都市にも負けないような魅力あるまちにしたいと思います。

将来の夢や目標は？

皆さんにメッセージを！

松山工業高校土木科は、一人一人が家族のように仲が良く、みんなできていることに協力しながら挑戦し、何事も全力で努力する学科です。また、土木の仕事は、私たちが生活する上で欠かすことのできない社会の基盤となる仕事です。ぜひ松山工業高校土木科に入学し、最高の仲間と最高の思い出をつくり、人々の毎日の生活を支える土木技術者を目指しましょう。



測量実習



授業風景

えひめの建設産業の魅力を発信！
えひめ建新聞とは
建設業の
いろんな魅力を
伝えよう！
「ひめ建新聞」は、みんなの身近にあるけれどあまり知られていない、地域の安全と安心を支える建設業の魅力や役割について紹介していく新聞です。



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん

過去のひめ建新聞は
こちらをチェック!



※1 プレストレストコンクリート・・・ひび割れが発生しにくいように、圧縮する力を加えたコンクリート
※2 CIM（シム）・・・3次元データで作成した設計図等を、工事関係者全体で情報共有することで、工事を効率化する取り組み